

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 28. 12. 13 第 192 回国会第 5 号

12 月 13 日（火）、第 5 回の委員会が開かれました。

1 国の安全保障に関する件（北朝鮮の核・ミサイル問題等）

- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。
- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）東京国際大学国際戦略研究所教授 伊豆見 元君
政策研究大学院大学教授 道下 徳成君

（質疑者及び主な質疑内容）

中 谷 真 一 君（自民）

- ・北朝鮮の核・ミサイル開発に関して、北朝鮮が最終的に目指している能力とはどのようなものであるのか、伊豆見参考人及び道下参考人の見解を伺いたい。
- ・イランの核開発疑惑に対する国際社会の制裁は成功したとされるのに対し、北朝鮮への制裁が効果的に機能していない理由について、伊豆見参考人の見解を伺いたい。
- ・策源地攻撃能力等の反撃能力を日本が整備することについて、道下参考人の見解を伺いたい。

升 田 世 喜 男 君（民進）

- ・北朝鮮による 5 回目の核実験を受けて採択された国連安保理決議（第 2321 号）の効果はどの程度あると考えるか、伊豆見参考人及び道下参考人に伺いたい。
- ・トランプ氏の米国大統領就任によって、北朝鮮及び中国の外交姿勢にどのような変化があるか、伊豆見参考人及び道下参考人の見解を伺いたい。

浜 地 雅 一 君（公明）

- ・北朝鮮の攻撃能力と比較して、イージス艦による上層での迎撃と PAC-3 による下層での迎撃を基本とする現在の我が国の BMD 能力は十分と言えるのか、伊豆見参考人及び道下参考人の見解を伺いたい。
- ・北朝鮮の核・ミサイル問題の解決に向け、どのような対話の枠組みが今後は有効であると考えているのか、伊豆見参考人及び道下参考人の見解を伺いたい。

赤 嶺 政 賢 君（共産）

- ・北朝鮮の核・ミサイル開発に対する国際社会のこれまでの対応について、どこに問題があったと考えるか、伊豆見参考人の見解を伺いたい。

- ・米韓合同軍事演習に「斬首作戦」が導入されるなどの動きがあったが、米韓の対北朝鮮戦略にどのような変化が生じているのか、道下参考人の見解を伺いたい。
- ・道下参考人の著書において、「2002 年には、第 2 次日米ガイドラインを具体化させるための『概念計画 5055』が日米間で合意された」と書かれているが、この「概念計画」とはどのようなものか、また、新日米ガイドラインにおいて共同計画の策定・更新が明記されたこととの関係について、同参考人の見解を伺いたい。

下 地 幹 郎 君（維新）

- ・北朝鮮による核開発や拉致問題の解決に向けた日朝 2 国間対話の成果が長年出ていないが、今後も政府が主体的に 2 国間対話を継続した場合に、具体的な成果が挙げられると考えているのか、伊豆見参考人及び道下参考人の見解を伺いたい。
- ・2 国間対話の成果が出ていない状況を踏まえ、今後の北朝鮮との交渉は、攻撃能力のある米国に任せることも政府は検討すべきと考えるが、伊豆見参考人及び道下参考人の見解を伺いたい。

照 屋 寛 徳 君（社民）

- ・北朝鮮の核・ミサイル問題への対応として、我が国も策源地攻撃能力を保有すべきという声が高まっているように感じるが、「策源地攻撃をした場合でも北朝鮮が発射しようとしているミサイル全てを破壊することは不可能であり、軍事的合理性はない」旨の有識者の意見も踏まえた上で、策源地攻撃の軍事的合理性についての伊豆見参考人及び道下参考人の見解を伺いたい。
- ・北朝鮮による弾道ミサイル発射の兆候を確認してから実際に発射されるまでどの程度時間があるのか、また、兆候を確認してから攻撃に向かって中間に合わないのではないか、道下参考人の見解を伺いたい。

寺田 稔君（自民）

- ・北朝鮮が、頻繁に行っていたミサイル発射を、本年 10 月を最後に行っていない理由について、道下参考人の見解を伺いたい。

青柳 陽一郎君（民進）

- ・北朝鮮の核・ミサイル問題の解決のためにも、我が国として北朝鮮の人権問題について国連安保理による国際刑事裁判所（ICC）への付託を働きかけることも問題解決に有用であると考えているが、伊豆見参考人の見解を伺いたい。

佐藤 茂樹君（公明）

- ・米軍高官が、北朝鮮は弾道ミサイルで核弾頭を運搬する能力をすでに備えていると述べていることについて、伊豆見参考人及び道下参考人の見解を伺いたい。また、6 月の弾道ミサイル発射事案のようなロフテッド軌道によるミサイル攻撃も我が国にとって大きな脅威であるが、能力向上型迎撃ミサイル（SM3-ブロックIIA）の配備のほか、我が国はどのような態勢強化をすればよいか、道下参考人の見解を伺いたい。さらに、北朝鮮は去る 11 日に、特殊作戦部隊による韓国大統領府への襲撃を想定した訓練を行ったことを公表したが、その意図について、伊豆見参考人の見解を伺いたい。

大西 宏幸君（自民）

- ・金正恩政権が意図する外交・安全保障政策の方向性について、伊豆見参考人及び道下参考人の見解を伺いたい。

神山 洋介君（民進）

- ・我が国へのTHAAD導入を検討するに当たっては、軍事的及び政策的有用性や費用対効果を総合的に検証する必要があると考えるが、伊豆見参考人及び道下参考人の見解を伺いたい。

門山 宏哲君（自民）

- ・韓国が核保有をした場合及び北朝鮮が核保有したまま朝鮮半島が統一された場合、日本はどのように対応すべきか、伊豆見参考人及び道下参考人の見解を伺いたい。また、後者について、その可能性の度合いについても、併せて伺いたい。

後藤 祐一君（民進）

- ・北朝鮮は4発以上の弾道ミサイルを同時に発射する能力を現時点で又は近い将来に有すると考えるか、また、複数の弾道ミサイルが同時に発射された場合にSM-3及びPAC-3では迎撃できない事態は憲法第9条との関係で敵基地攻撃が可能とされる「他に手段がない」場合に該当すると解釈し得るのか、さらに、移動式発射台から同時に複数発射された弾道ミサイルに対する現時点での米国を含めた迎撃能力はどの程度あるのか、道下参考人の見解を伺いたい。
- ・朝鮮半島有事の際に我が国が米軍へ基地を提供することが韓国防衛に役立つことを韓国側に説明することで韓国からの情報提供も確実にする必要があるのではないか、道下参考人の見解を伺いたい。

小野寺 五典君（自民）

- ・北朝鮮は、既に核保有国であり、核弾頭を搭載した核ミサイルを保有しているとみなすべきか、伊豆見参考人及び道下参考人の見解を伺いたい。また、日本が整備すべき反撃能力として、どのようなものが考えられるか、併せて伺いたい。

宮澤 博行君（自民）

- ・北朝鮮の弾道ミサイルに対し、日米韓で共同対処するための体制を構築するにあたっての課題及び潜水艦発射弾道ミサイル（SLBM）に対する策源地攻撃能力を整備する必要性について、道下参考人の見解を伺いたい。
- ・今後日朝間で対話を行う際に、北朝鮮が日本に対し要求すると予想される取引内容について、伊豆見参考人及び道下参考人の見解を伺いたい。

左藤 章君（自民）

- ・北朝鮮の大陸間弾道ミサイル（ICBM）及び潜水艦発射弾道ミサイル（SLBM）の開発の状況及び今後の見通しについて、伊豆見参考人及び道下参考人の見解を伺いたい。

小林 鷹之君（自民）

- ・金正恩氏による体制の維持が困難となった場合、核管理に関してどのような問題が想定されるのか、伊豆見参考人及び道下参考人の見解を伺いたい。

藤丸 敏君（自民）

- ・中朝貿易の内容及び両国関係におけるキーパーソンにつ

いて、伊豆見参考人に伺いたい。また、北朝鮮がロシアから技術提供を受けた経緯についても、併せて伺いたい。

和田 義明君（自民）

- ・北朝鮮問題に対処するための手段の一つとして対話は非常に重要であり、特に、拉致問題を抱える我が国としては、これを糸口として対話を進めることにより、我が国を取り巻く安全保障環境や両国関係の改善が図られれば、中国に対する圧力にもなると考えるが、伊豆見参考人の見解を伺いたい。